



30歳までに一人前の職人として  
育ててくれることを願って。

## 株式会社 オリエンタル工芸社

■ カゴ操作盤、乗場押ボタン、操作盤カバー、表示灯等エレベーター製品製造

★代表者/杉本 亨 ★従業員数/10人 ★創業年/1971年5月

〒143-0015 大田区大森西7-2-5

TEL. 03-3763-3601 FAX. 03-3763-2621 <http://www.orientaru.co.jp>



エレベーター用ボタン・操作盤の専門メーカーとして、エレベーターメンテナンス会社向けの補修部品事業が7割を占める。医療施設向けの抗菌ボタンや視覚障がい者でも操作しやすいユニバーサルボタンなど、新製品開発にも積極的に取り組み、大手より早いサイクルで新製品を開発できる対応力には定評がある。自社開発によるマスコットキャラクターを活用したユニークな販売活動も注目されている。

### 顧客の見えるスモールメーカーの強みを生かした、 OJT中心の技術・技能継承への全社的な取り組み

実務指導者が長期的な視点に立ち、現場でその都度修正箇所を指導しながらスキルを磨く機会を提供。若手技術者は作業後いつでも振り返りができ、次回の作業が正確に実行できるように必ずメモをとるなどして自己研鑽に努めている。社内における品質会議等を通じて技術・技能継承を推進している点も見逃せない。

#### 分からないことを必ず確認する 姿勢を失わずに成長してほしい

10年を目安とした長期的な視点で、丁寧な指導を心がけています。ミーティングの際も他の社員の気づきや失敗例から学んだことを共通認識できるよう、解説しながら指導しています。時々、竹田君の方から「街でこんなデザインのエレベーターを見ました」と、最近のトレンドを教えてくださいられることもあるので、とてもヒントになります。そこにベテランの技術を融合させて、更に良い商品ができればと考えています。竹田君は分からないことを自分で判断せず、必ず先輩に確認することが身につけているので、その姿勢を失わないでほしいですね。将来のリーダー候補として期待しています。

#### 後継者として身につけたことを 絶やさないようにしていきたい

ヤスリ、金ノコ、フライス盤といった基本的な加工や、図面を見ながら製品を組み立てる仕事に携わっています。工場長から教わったことはメモを取り、分からないことがあった時は自分の中で理解できる言葉に置き換えて聞き直すようにしています。作業前・中・後の全工程において注意すべき点を学んだことで、どの作業に取り組んだ時も慎重さが増し、質の高い製品づくりが出来るようになりました。お客様に納品した製品が認められ、次の仕事に結び付いた時はとても嬉しいです。今後も後継者として教えてもらったことを絶やさないようにして自己研鑽に努めます。

大田区の  
町工場の将来は  
君たちに  
かかっているよ!



実務指導者 | 堺野 健一  
さかいの けんいち

工場長の  
親身な指導に  
いつも感謝  
しています。



若手技術者 | 竹田 京介  
たけだ きょうすけ

入社  
4年目

